



後列左から中学校長、喜田教諭、尾崎和己(野球、3年)、星 雄太(同、3年)、東江将悦(同、3年)、浅井脩輔(同、3年)、下川原教諭、笠井教諭。中列左から、鶴木雅斗(野球、3年)、石川明早美(テニス、2年)、五十嵐茜(同、2年)、門別春香(同、2年)、星 千晴(同、2年)、平尾直也(野球、3年)、伊藤裕太(陸上、3年)、吉田優大(同、3年)。前列左から、小野菜美(テニス、2年)、渡辺優華(同、3年)、町長、教育長、沼田真里奈(同、2年)、土田ゆり(同、3年)※選手の敬称は略

全道大会での活躍の決意を報告

7月22日 地区大会で優秀な成績を収め全道大会に出る早来中学校の生徒が役場を訪れ町長に報告に来ました。ソフトテニス部は中体連全道大会に団体戦のほか、渡辺優華・小野菜美組と沼田真里奈組は個人戦にも参加します。陸上部の2人も中体連全道大会に出場。野球部は北海道中学校

軟式野球連盟旗争奪大会に胆振東地区代表として、他の地区代表と対戦します。

町長から「体に気をつけて頑張ってください。特に、野球は優勝すると北海道代表として台湾で対戦があると聞いています」と激励。選手一人ひとりが全道大会に向け決意表明し、「ベストを出し切ってよい成績を残したい」など抱負を語ってくれました。

ぬくもりセンター前を花のロードに

「来場者に色とりどりの花を見てほしい」と7月21日に安平町のフラワーマスターの皆さんがぬくもりセンター前にプランターを置き花を植えました。手作りの容器や市販のプラスチックのプランターなど形はバラバラですが、それぞれ器に合わせて花の種類やバランスを考慮しながら作業を行い、訪れた人も一つ一つの出来栄を鑑賞していました。フラワーマスターの町田道夫さん(追分春日)は水の管理や病害虫対策を徹底し、ぬくもりの湯までの通路を花のロードにしたいと考えています。



花の管理をするフラワーマスターの町田さん(写真左)



賞品は特産のアサヒメロン
7月26日、第11回おいわけアサヒメロンカップパークゴルフ大会がフアミリーパークゴルフ追分で開催され、210名が出場。厚真町や千歳市などの近隣市町のほか、パークゴルフ発祥の幕別町からの申し込みもありました。
選手たちは小雨の中、自己のベストスコアに挑戦。結果は次のとおりで、勝者には安平町特産のアサヒメロンが贈られました。
男子の部 優勝 熊谷勝夫(帯広市)、2位 坂井(恵庭市)、3位 中嶋(札幌市)
女子の部 優勝 坂下博子(帯広市)、2位 渋谷(岩見沢市)、3位 前田(恵庭市)